

商工中金における ガバナンス及びコンプライアンス体制

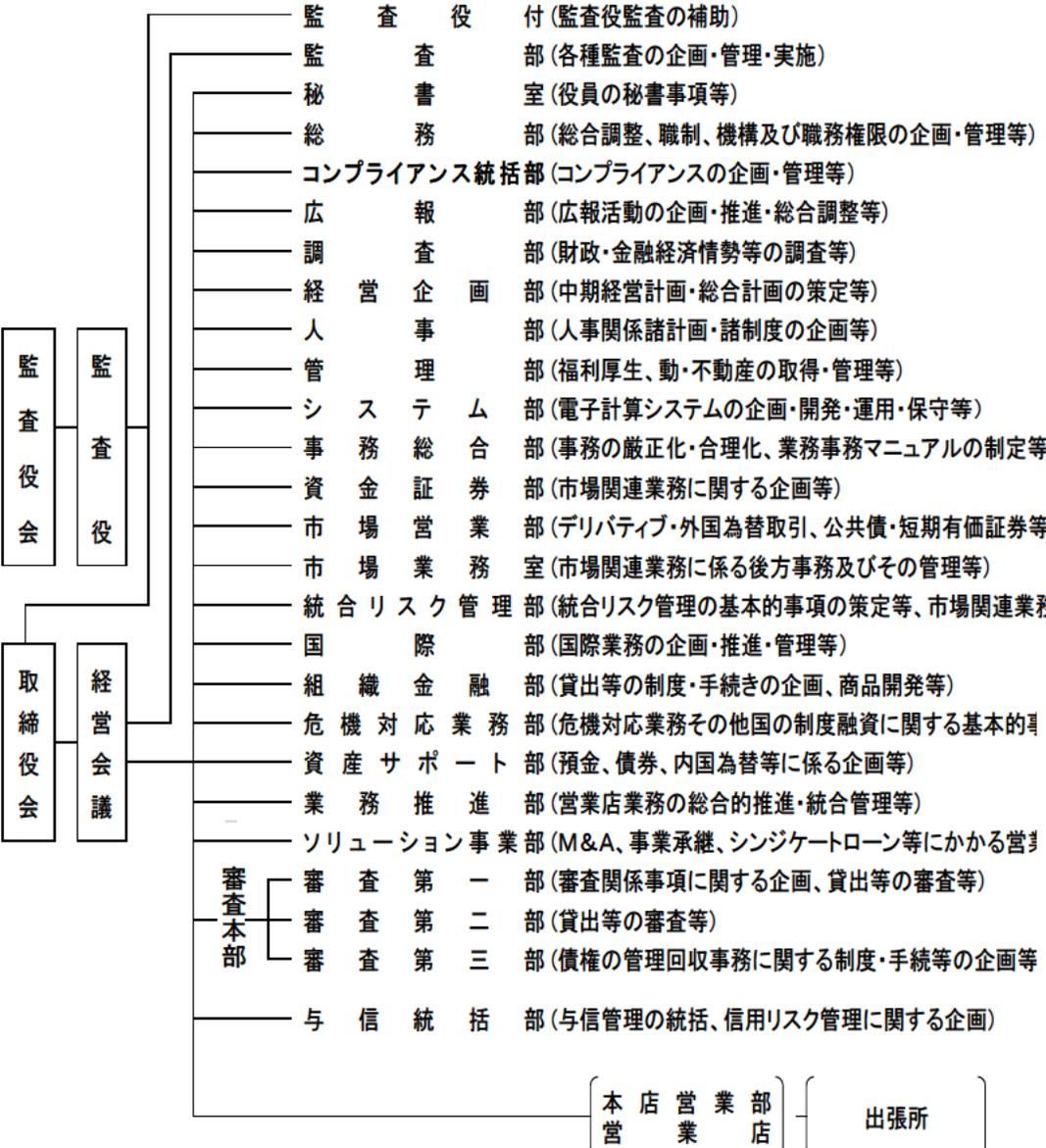
平成29年12月

商工中金の組織・役員体制

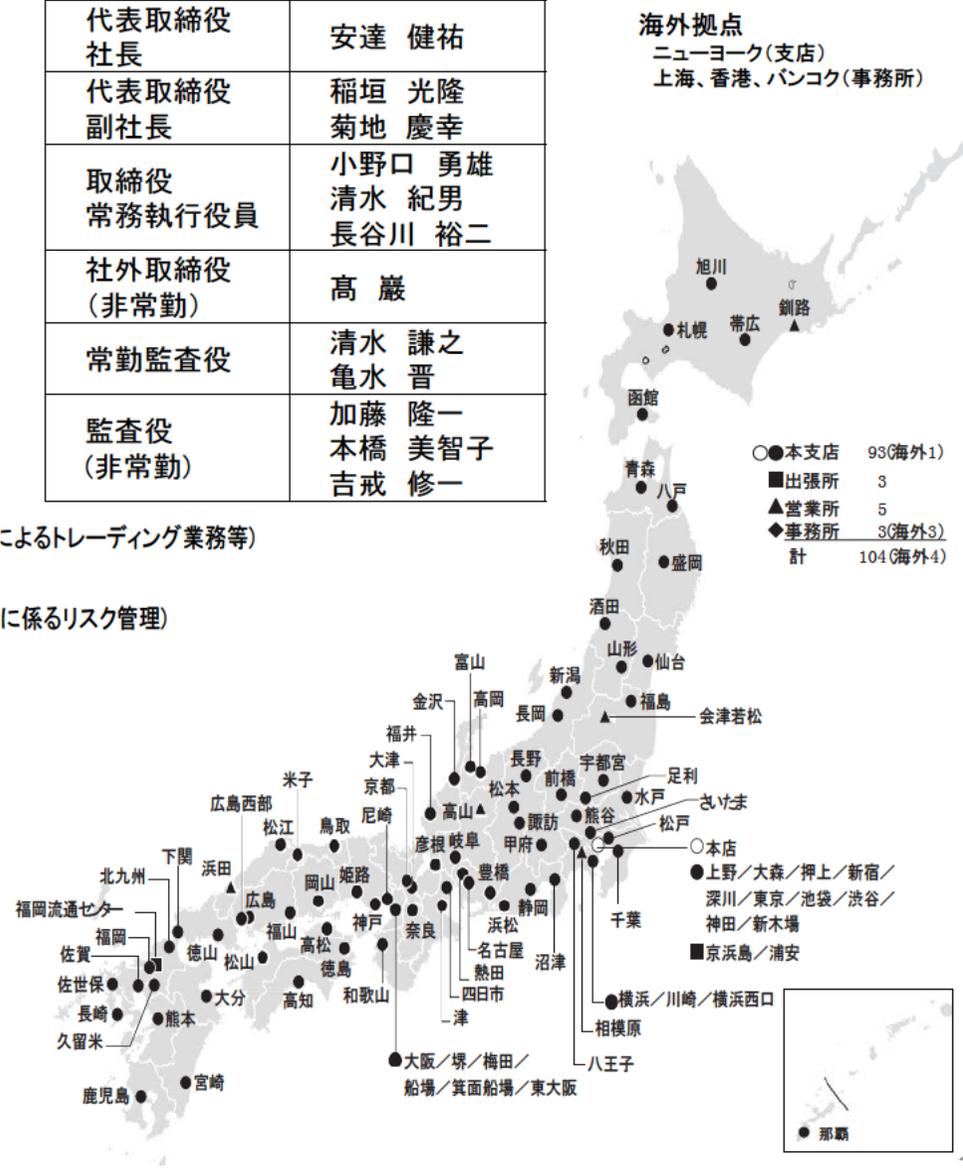
【組織の概要】

【役員体制】

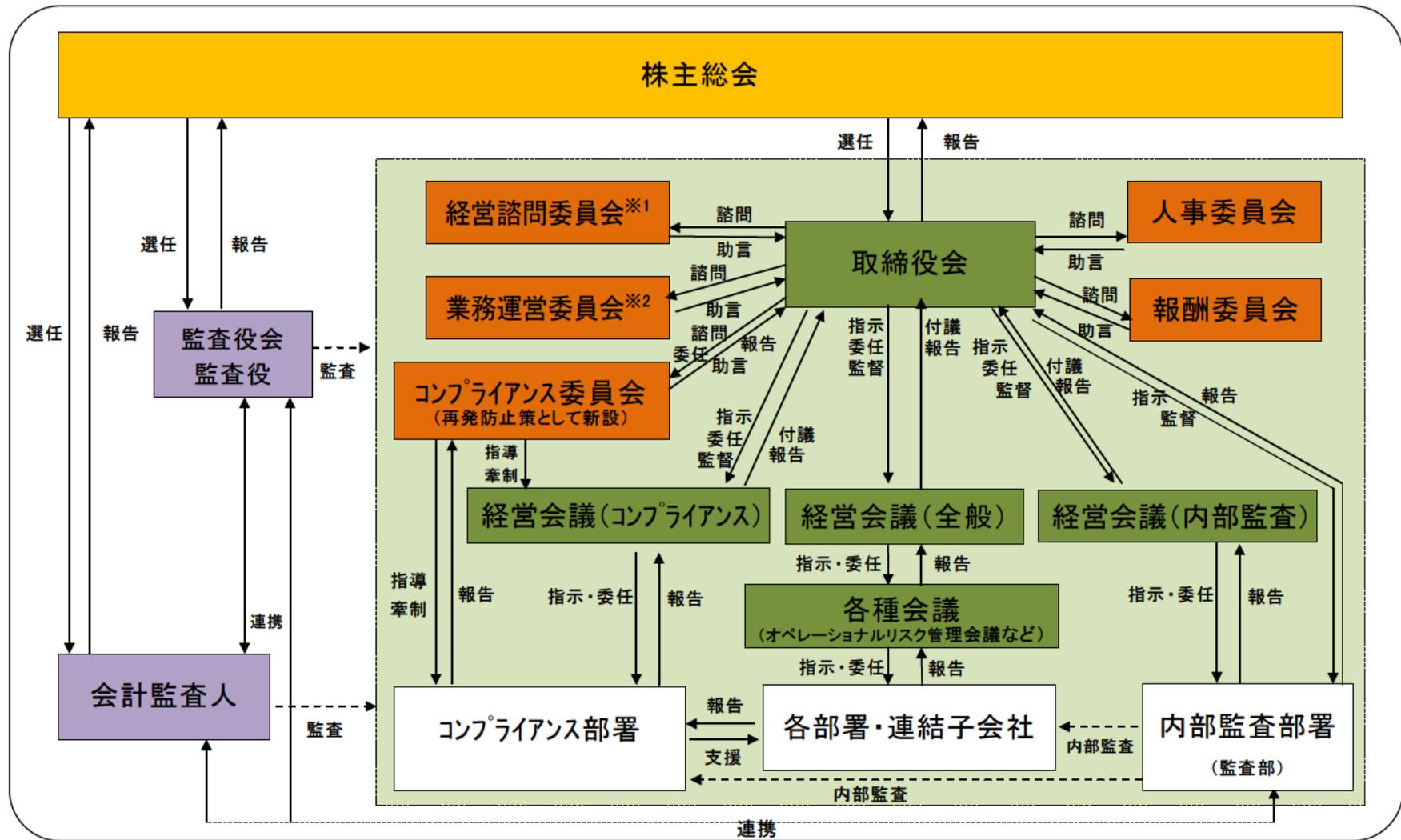
【店舗の分布】



代表取締役社長	安達 健祐
代表取締役副社長	稲垣 光隆 菊地 慶幸
取締役常務執行役員	小野口 勇雄 清水 紀男 長谷川 裕二
社外取締役(非常勤)	高 巖
常勤監査役	清水 謙之 亀水 晋
監査役(非常勤)	加藤 隆一 本橋 美智子 吉戒 修一



商工中金におけるガバナンス体制

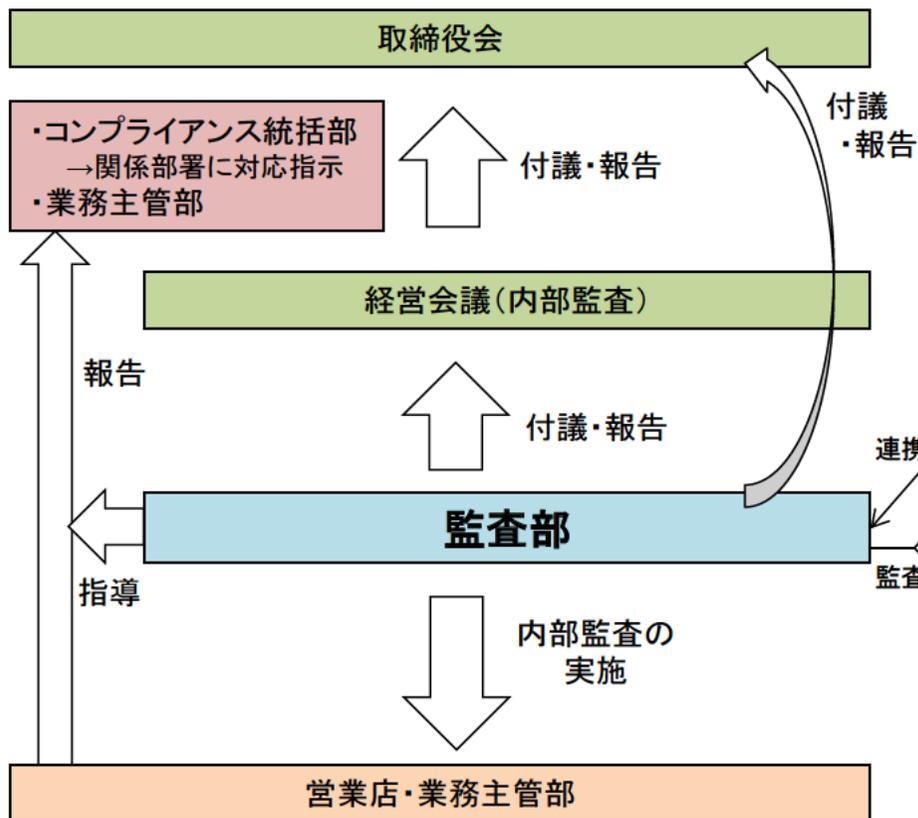


- ※1「経営諮問委員会」: 中小企業団体と中小企業の意向を経営に反映。取引先中小企業の代表者24名で構成。年2回程度開催。
- ※2「業務運営委員会」: 他の事業者との間の適正な競争関係の確保の状況及び地域金融機関との多様な連携のあり方等の助言を経営に反映。中小企業金融に関係する者及び学識経験者8名で構成。年2回程度開催。

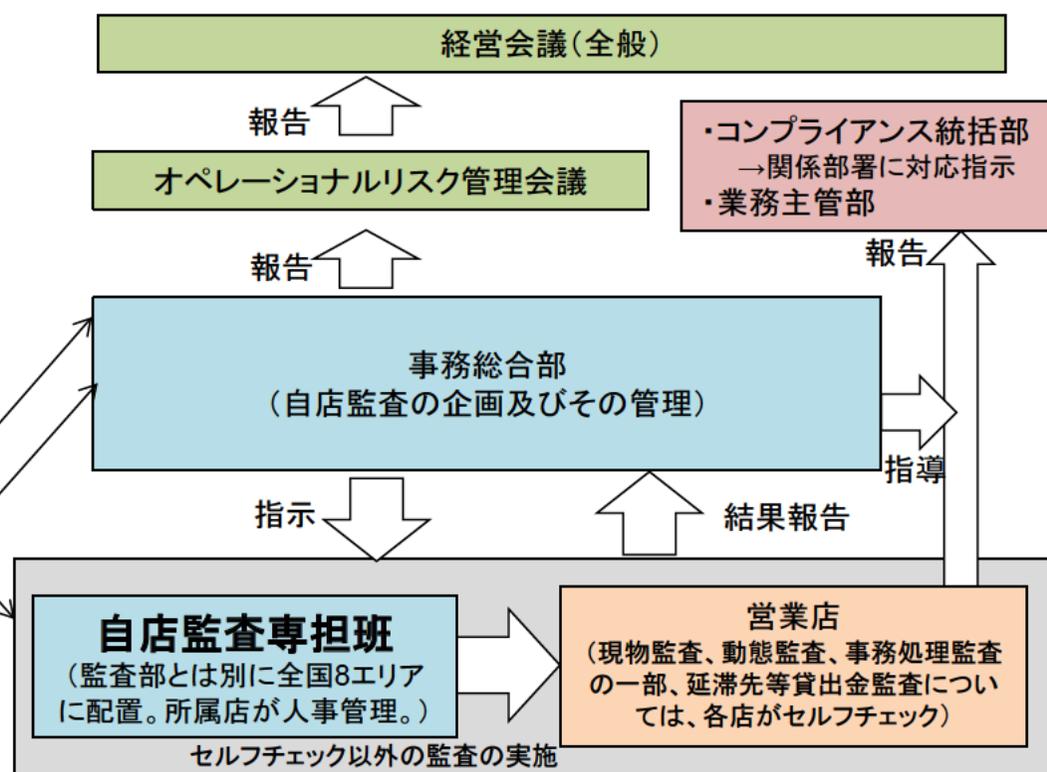
商工中金における内部監査等の体制

- 監査部は、営業店や本部室等の業務監査担当の業務監査グループ26名、業務監査の企画・管理担当の企画グループ4名、自己査定等の資産監査担当の資産監査グループ6名により構成(いずれも本部配属)。
- 営業店や本部室等に対する業務監査及びテーマ別監査では、リスク管理体制、人的リスク、風評リスク等についての内部監査を実施。
- 監査部とは別に、全国8エリアに自店監査専担班(所属店が人事管理)が配置され、全営業店の自店監査を実施。同監査結果は監査部による内部監査にもフィードバック。

【内部監査の仕組み】



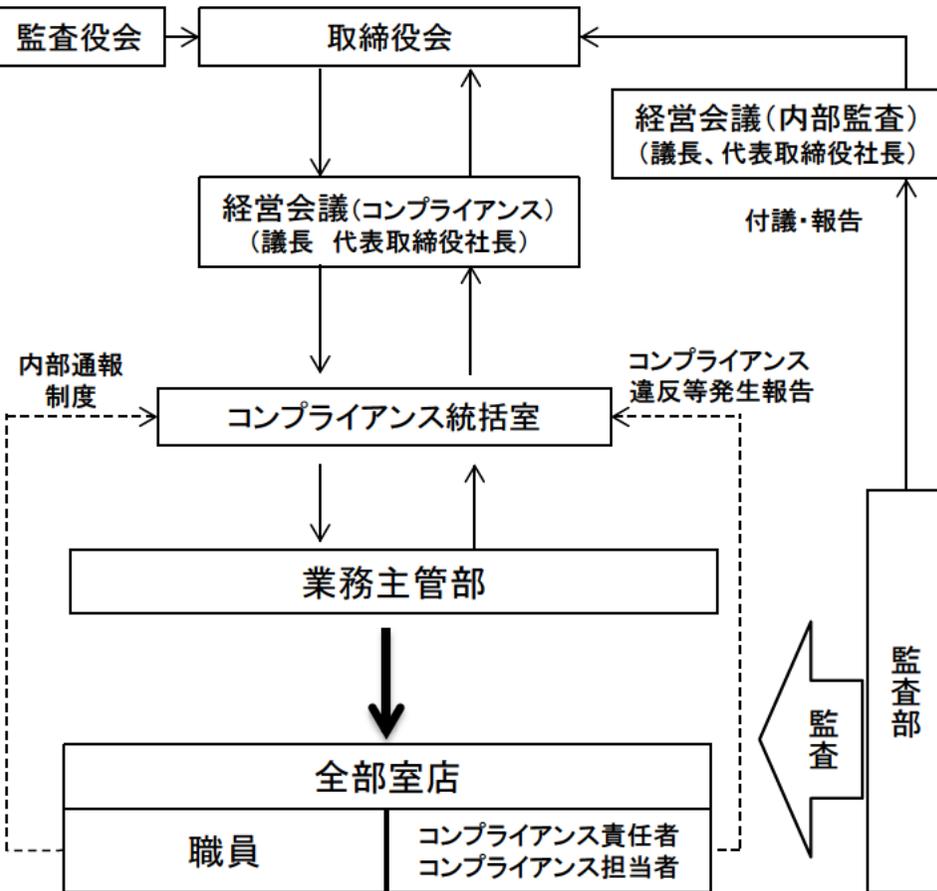
【自店監査の仕組み】



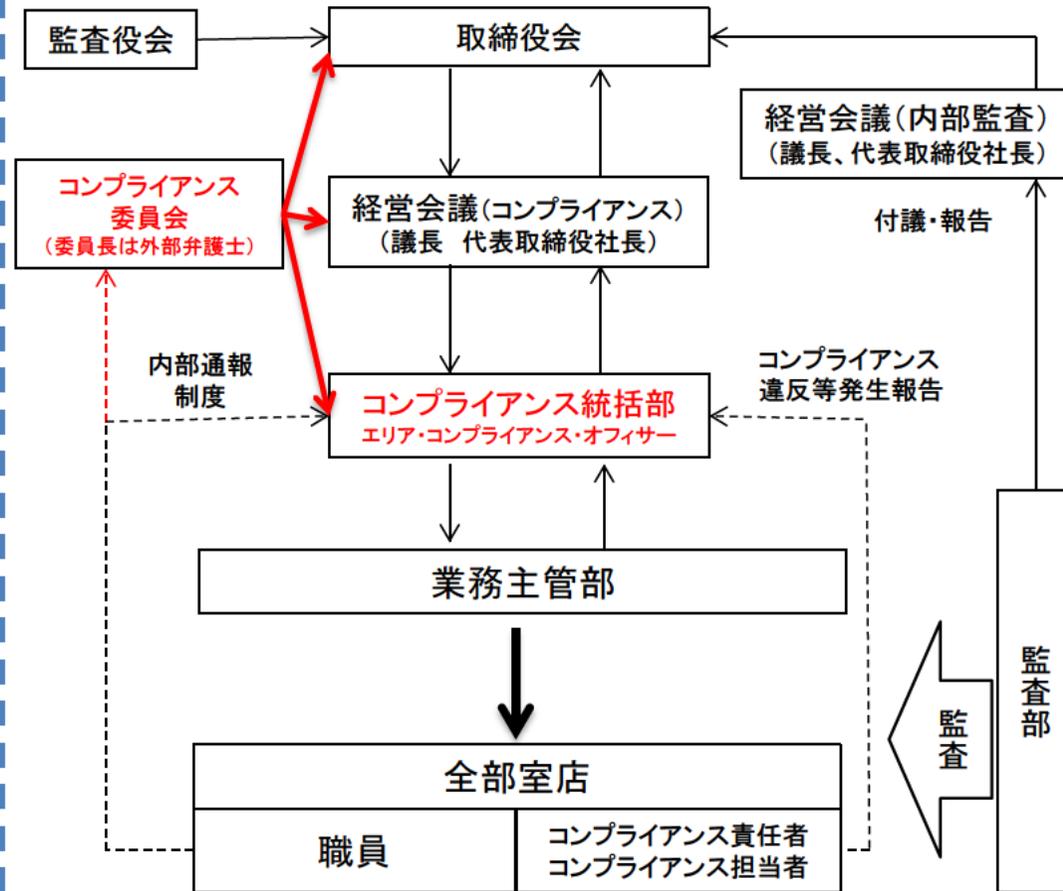
商工中金におけるコンプライアンス体制

■コンプライアンス統括部(室)は、コンプライアンスの取組みに係る年度間計画を策定し、実施状況をモニタリングするとともに、マネーロンダリング等の防止や反社会勢力等への対応にかかる態勢整備を行う。

【変更前】



【変更後】



■再発防止策の内容(図中の赤字部分)

- ・コンプライアンス統括室を「部」に格上げ。
- ・地域毎にコンプラ担当の管理職(エリア・コンプライアンス・オフィサー)を配置。
- ・不正発生の第一報から、外部弁護士を長として新設する「コンプライアンス委員会」がその不正事案への対応状況を把握するとともに、コンプライアンス統括部が迅速に取締役会に報告する体制を整備(当委員会に特別調査の発議権も付与)。